



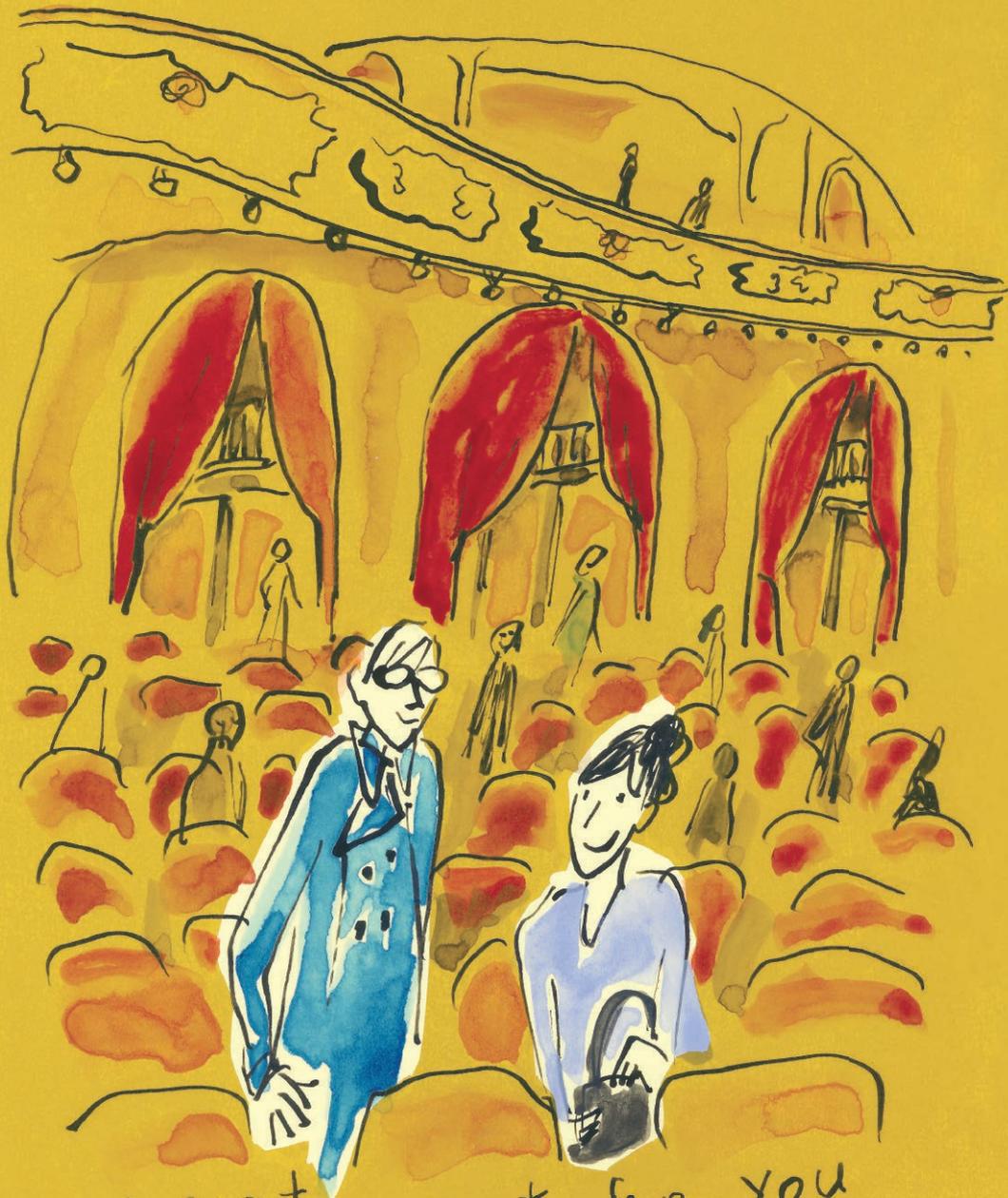
TOKYO PHILHARMONIC ORCHESTRA

2022シーズン定期演奏会

東京フィルハーモニー交響楽団

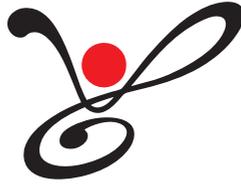
2022

3



A seat reserved just for you

chie 14.



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます  
オーケストラの響きが満ちる場所でのかけがえのないひとときを  
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

---

オフィシャル・サプライヤー

---

SONY

Rakuten 25  
YEARS

マルハン

LOTTE

ゆうちょ銀行  
BANK

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第966回サントリー定期シリーズ

3月10日(木)19:00開演 サントリーホール

第145回東京オペラシティ定期シリーズ

3月11日(金)19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

第967回オーチャード定期演奏会

3月13日(日)15:00開演 Bunkamura オーチャードホール

3/10

3/11

3/13

指揮：ミハイル・プレトニョフ

コンサートマスター：依田真宣

スメタナ：

## 連作交響詩『わが祖国』（全曲）

第1曲 ヴィシェフラド(高い城) (約15分)

第2曲 ヴルタヴァ(モルダウ) (約15分)

第3曲 シャールカ (約10分)

— 休憩 (約15分) —

第4曲 ボヘミアの森と草原より (約12分)

第5曲 ターボル (約12分)

第6曲 ブラニーク (約15分)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

共催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団(3/11)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) |

独立行政法人日本芸術文化振興会

協力：Bunkamura (3/13)



※演奏中や曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。

※開演間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なるお席への着席をお願いすることがございます。

※演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。

※終演後、ロビーの混雑を避けるため「時差退場」のお願いをしております。ご協力をお願いいたします。

## 出演者プロフィール



©上野隆文

指揮

ミハイル・プレトニョフ

Mikhail Pletnev, conductor

東京フィルハーモニー交響楽団 特別客演指揮者

一言では説明できない多才な芸術家。ピアニスト、指揮者、作曲家として魔法のような才能で、世界中の聴衆を魅了している。ロシア・ナショナル管弦楽団(RNO)創設者・芸術監督。

ドレスデン国立歌劇場管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団ほか数々のオーケストラを指揮。近年ではポリショイ・オペラでの『スベードの女王』指揮で大成功を取めているほか、コンサート形式のオペラ指揮も行っている。

1957年ロシアのアルハンゲリスク生まれ。1978年、21歳でチャイコフスキー国際コンクールのゴールド・メダルおよび第1位を受賞し、国際的な脚光を浴びる。驚くべき技巧、深い知性に裏づけられた演奏、完璧にコントロールされた美しい音色で、世界各地でカリスマ的人気を誇る現代最高のピアニストの一人として活躍。

1990年ロシア内外の個人、団体より資金を得、ロシア史上初めて国家から独立したオーケストラとしてRNOを設立。これはロシアでのプレトニョフの知名度・人気の高さを証明している。指揮者として東京フィルハーモニー交響楽団には2003年7月初めて客演。以来定期的に招かれ、2015年4月より特別客演指揮者に就任。1995年、2002年にロシア共和国第一等国家賞を授与されている。

## 楽曲紹介

解説=寺西基之

### スメタナ 連作交響詩『わが祖国』

ベドルジフ・スメタナ(1824-1884)は、ボヘミア国民楽派の生みの親と称されるように、オーストリアの支配下にあった当時のボヘミアにあって、民族運動に身を投じつつ、国民意識を高揚するような民族的主張を持った音楽を追求した。ボヘミアは1526年にハプスブルク家の勢力下に置かれ、17世紀には政治的自由を剥奪されて、以後ドイツ語を強要されるなど民族としての自由を奪われた暗黒時代が長らく続いた。18世紀後期になってヨーゼフ2世の啓蒙主義的改革などの影響もあって民族復興をめざす機運が思想や歴史学の分野に起こり、19世紀に入るとその動きは芸術文化に及ぶようになるとともに、政治運動にも結びついて大きな高まりをみせるようになる。そうした中で民族的な芸術音楽の確立をめざして、ボヘミアの国民楽派の道を拓いたのがスメタナだった。特に1848年の2月革命を機にヨーロッパ全般にナショナリズムが広まり、プラハでも革命が勃発、これは制圧されたものの、この革命運動に参加したことでスメタナはボヘミア民族としての自覚に目覚め、こうした当時の社会にあって音楽家として自分がなすべきことを真剣に考えるようになったのである。

彼は特に、オペラや標題音楽のような具体的に民族的題材を扱うジャンルにおいて、国民的な作風を探求しており、その点において、国民楽派の後輩であるドヴォルザークがヨーロッパの古典的な伝統形式を重視したのとは対照的だ。人生の後期は、愛国者としての栄光に包まれながらも、聴覚の喪失という作曲家としては致命的な障害に見舞われてしまうが、創作意欲は衰えることなく、国民的な作品を生み続けた。そのことは彼の民族主義の総決算ともいえる連作交響詩『わが祖国』に示されている。

6曲からなるこの連作だが、当初は4曲のみの予定だった。最初の2曲は1874年に書かれているが、作曲中にスメタナの聴覚は急速に衰え、第2曲「ヴルタヴァ(モルダウ)」の作曲中に完全に聴力を喪失する。しかし彼は不屈の精神でこの愛国的作品の創作を続行、1875年に第3、4曲を生み出し、これら4曲は1875年から順次1曲ずつ初演された。それらが成功を収めたことでスメタナは続編となる第5曲を1878年、第6曲を1879年に作曲、こうして全6曲の連作となったのである。6曲纏めての初演は1882年11月プラハで行われて圧倒的な成功を収め、列席していたスメタナは生涯最高の栄誉に包まれたという。

**1. 「ヴィシェフラド(高い城)」** 題は直訳すると「高い城」だが、ヴルタヴァ(モルダウ)河畔の岩上の城を指す固有名詞で、伝説の建国の女王リブシェがここで国の未来を予言し、また伝説の王たちの居城となったという民族精神の源泉というべき城である。曲は、吟遊詩人ルミールが堅琴(ハープ)をかき鳴らしつつ城の栄枯盛衰の歴史を語るという想定で作られており、曲頭現れるヴィシェフラド主題(シb-ミb-レーシb)が中心となる。

**2. 「ヴルタヴァ(モルダウ)」** チェコを流れるヴルタヴァ河(モルダウという言い方はドイツ語)を、水源からプラハに流れ込むまでの道程に沿って描いた曲で、チェコの自然に重ねてこの河が見てきた歴史も表現される。2つの水源(フルートとクラリネット)の描写に始まり、それが合流し徐々に大きくなる様子、狩や農民舞踏、夜の情景などが描かれた後、激しい急流が国の苛酷な歴史と二重写しになって描かれ、最後は河がプラハに入ってヴィシェフラドの脇を通過していくさまが第1曲のヴィシェフラド主題によって雄大に表現される。

**3. 「シャー鹿カ」** 男を憎悪する女傑シャー鹿カの伝説の物語をリアルに描いた劇的な曲。兵士一行を率いる勇士に助けられたシャー鹿カだが、宴会で彼女は兵士らを酔わせて眠らせ、角笛の合図(ホルン)とともに女戦士たちに男どもを襲わせて皆殺しにする。

4. 「ボヘミアの森と草原より」 深い森と広い草原、吹き渡る風、差し込む木漏れ日、小鳥の歌、村人の生活と踊り(ポルカ)などを表した自然賛歌で、チェコの田舎の空気が伝わってくるような自然描写が見事である。

5. 「ターボル」 ターボルはプラハ南80キロの町で、15世紀に宗教改革をめざすフス団が建設、ここを本拠に改革のために戦った。曲は、冒頭示されるフス団の革命的な賛美歌「汝ら神の戦士」を主要主題として彼らの不屈の精神と戦いを描いたもので、最後は決然とした賛美歌主題で閉じられる。

6. 「ブラニーク」 前曲「ターボル」の続編で、前曲と同じ賛美歌主題が使用される。ブラニークは山の名で、ここには民族を守る英雄たちとその指導者の聖ヴァーツラフが眠るという伝説があった。スメタナはこれをフス教徒に変更し、敗れたフス戦士が国を救う時の到来を待ちつつ眠る場所としてブラニークを扱っている。重々しい賛美歌主題に始まり、戦士の覚醒と進軍、牧歌的な田園の描写の後、激しい戦闘が描かれる。やがて明るい行進曲調の新主題(賛美歌による)が勝利を表し、最後は第1曲のヴィシェフラド主題も重ね合わされて輝かしい終結に至る。

このボヘミアの愛国的な作品に本日の指揮者プレトニョフは特別な愛着を感じているようだ。ロシア人の彼にとってはこの作品の持つ不屈なスラヴ精神に強く共感するものがあるのだろう。本来2020年3月に演奏される予定でありながらコロナで中止となり、その後2度にわたって延期公演が予定されたもののいずれも流れてしまって、今回4度目の正直でやっと実現の運びとなった。プログラムを変更しなかったことに彼のこの作品へのこだわりが表れており、プレトニョフらしい鋭い視点からのアプローチに基づく名演を期待したい。

ヴィシェフラド(高い城) [作曲年代] 1874年 [初演] 1875年3月14日プラハ  
[楽器編成] ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、打楽器(トライアングル、シンバル)、ハーブ2、弦楽5部

ヴルタヴァ(モルダウ) 【作曲年代】1874年 【初演】1875年4月4日プラハ

【楽器編成】ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、打楽器(トライアングル、大太鼓、シンバル)、ハーブ、弦楽5部

シャルカ 【作曲年代】1875年 【初演】1877年3月17日プラハ

【楽器編成】ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、打楽器(トライアングル、シンバル)、弦楽5部

ボヘミアの森と草原より 【作曲年代】1875年 【初演】1876(1875?)年12月10日プラハ

【楽器編成】ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、打楽器(トライアングル、シンバル)、弦楽5部

ターボル 【作曲年代】1878年 【初演】1880年1月4日プラハ

【楽器編成】ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、打楽器(シンバル)、弦楽5部

ブラニーク 【作曲年代】1879年 【初演】1880年1月4日プラハ

【楽器編成】ピッコロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ、トライアングル、打楽器(シンバル)、弦楽5部

てらにしもとゆき(音楽評論)／1956年生まれ。上智大学文学部卒、成城大学大学院修士課程(西洋音楽史専攻)修了。音楽評論家として執筆活動を行う一方、(公財)東京二期会評議員、(公財)東京交響楽団監事、日本製鉄音楽賞選考委員、(公財)アフィニス文化財団理事などを務める。共訳書にグラウト／パリスカ『新西洋音楽史』、共著に『ピアノの世界』ほか。

The 966th Suntory Subscription Concert

**Thu. March 10, 2022, 19:00 at Suntory Hall**

The 145th Tokyo Opera City Subscription Concert

**Fri. March 11, 2022, 19:00 at Tokyo Opera City Concert Hall**

The 967th Orchard Hall Subscription Concert

**Sun. March 13, 2022, 15:00 at Bunkamura Orchard Hall**

Mikhail Pletnev, conductor

Masanobu Yoda, concertmaster

## Bedřich Smetana: Má vlast

- I. Vyšehrad (ca. 15 min)
- II. Vltava (The Moldau) (ca. 15 min)
- III. Šárka (ca. 10 min)

— intermission (ca. 15 min) —

- IV. Z českých luhů a hájů  
(From Bohemia's Meadows and Forests) (ca. 12 min)
- V. Tábor (ca. 12 min)
- VI. Blaník (ca. 15 min)

Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

Co-presented by Tokyo Opera City Cultural Foundation (Mar. 11)

Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan ;  
Japan Arts Council

In Association with **Bunkamura** (Mar. 13)



- Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed.
- If you enter just before the concert, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned.
- Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance.
- In order to avoid crowding when exiting the hall, we ask that you exit the hall by staggered times in cooperation with guidance that staff will provide at the venue at the end of the concert.

10  
Mar

11  
Mar

13  
Mar

## Artist Profile



©Takafumi Ueno

### Mikhail Pletnev, conductor

Special Guest Conductor of  
the Tokyo Philharmonic Orchestra

10  
Mar

11  
Mar

13  
Mar

Mikhail Pletnev is an artist who cannot be classified in one word. Known as a genius and one of the greatest pianists of our time and also as conductor and composer. Born in Archangel, Russia in 1957. Awarded the 1st prize and Gold Medal at renowned Tchaikovsky Competition in 1978 when he was 21 years old.

The resulting friendship with Gorbachev gave Pletnev the opportunity to found Russian National Orchestra (RNO) in 1990.

Under his artistic leadership as Founder and Artistic Director, RNO, in less than a decade, has come to be known as one of the world's leading orchestras. Pletnev is also invited to conduct noted orchestras such as Staatskapelle Dresden, Royal Concertgebouw Orchestra, and others.

Starting from July 2003, he is invited to conduct Tokyo Philharmonic Orchestra and was appointed as Special Guest Conductor from 2015 season. As a composer, he has been composing numerous works among which there is a cello sonata written for Steven Issarlis.

CDs have been released from Deutsche Grammophon and Pentatone Classics. Awarded the First State Prize of the Russian Federation in 1995 and in 2002.

# Program Notes

Text by Robert Markow

## Smetana: Má vlast

Smetana is generally regarded not only as the first Czech composer of international stature, but as the musical personification of his country's national spirit. In the words of biographer Paul Stefan, "his music sings to us today of the Bohemia of old – its woods and cultivated plains, its villages, its romantic hills and old legends, its great past and even its future. It is all one great pageant of song and dance – dancing to native rhythms of astounding variety, singing to melodies of a unique beauty."

Smetana poured his patriotism, loyalty and love for his country into a cycle of six symphonic poems collectively known as *Má vlast* (My Fatherland). Outside of the Czech Republic, only the second, *Vltava* (The Moldau), is heard with any frequency, but within those borders, *Má vlast* has become something of a national treasure, an epic enshrined in tone. This music speaks directly and fervently to the Czechs; in it they find a vivid musical manifesto of their countryside, their legends, traditions, history, dances, folksongs and hope for a noble future of freedom and glory. This last point was as important in Smetana's lifetime as it remains today, for during the 1870s, when *Má vlast* was written, Smetana's homeland was still under Hapsburg rule and was beset by numerous internal disputes as well. Adolf Čech led the first complete performance of the cycle on November 5, 1882 in Prague, the city to which Smetana dedicated *Má vlast*.

10  
Mar

11  
Mar

13  
Mar

### VYŠEHRAD

On a high rock overlooking the Moldau River, just outside Prague, lies Vyšehrad (literally, "high castle"), home of the Czech rulers of former times and rich in heroic legend. Vaclar Zeleny, a critic and friend of Smetana, provided the following description: "At the sight of the venerable rock

Vyšehrad, the poet's memory is carried back to the remote past and the sound of Lumir's harp. There rises the vision of Vyšehrad in its ancient splendor, with its gleaming golden crown, the venerable and proud dwelling-place of the Premysl kings and princes, filled with the renown of warriors. Here knights assembled at the joyous call of trumpets and cymbals; here the warriors gathered for victorious combat. Yearning after the long-perished glory of Vyšehrad, the poet now beholds its destruction. From its ruins comes the melancholy echo of Lumir's song, so long silent and forgotten."

### **VLTAVA (THE MOLDAU)**

Smetana provided his own description for *The Moldau*: "Two springs burst forth in the shade of the Bohemian forest, one warm and gushing, the other cool and tranquil. Their waves, joyously rushing down over the rocky beds, unite and glisten in the rays of the morning sun. The forest brook, hastening on, becomes the river Vltava. Coursing through Bohemia's valleys, it grows into a mighty stream. Through thick woods it flows, as the joyous sounds of the hunt and the notes of the hunter's horn are heard ever nearer. It flows through grass-grown pastures and lowlands where a wedding feast is being celebrated with song and dance. At night wood and water nymphs revel in its sparkling waves. Reflected on its surface are fortresses and castles – witnesses of bygone days of knightly splendor and the vanished glory of fighting times. At the St. John's Rapids the stream rushes ahead, winding through the cataracts, hewing out a path with its foaming waves through the rocky chasm into the broad river bed in which it flows on in majestic peace toward Prague and is welcomed by time-honored Vyšehrad, whereupon it vanishes in the far distance beyond the poet's gaze."

### **ŠÁRKA**

Šárka, a beautiful young woman of Czech legend, has been scorned by her lover and vows to wreak vengeance on the entire male population. The music opens with a description of her madness. The principal melody is developed at some length before it is interrupted by a march tune, which depicts the approach of Ctirad and his warriors. Šárka has herself bound to a tree and feigns anguish. At the point where the march is interrupted by a phrase for the bassoon and cellos, Ctirad sees Šárka. Struck by her

10  
Mar11  
Mar13  
Mar

beauty, he falls instantly in love with her, and of course releases her from her bonds. Following the love music comes the depiction of Ctirad's camp, full of revelry and drinking. Šárka then springs to action. Blowing a call on her horn, she summons her own army of women to massacre Ctirad's, and the composition ends on a note of horror.

## Z ČESKÝCH LUHŮ A HÁJŮ (FROM BOHEMIA'S MEADOWS AND FORESTS)

Smetana said of *From Bohemia's Meadows and Forests* that it is “a general description of the feelings which the sight of the Czech countryside conjures up. From nearly all sides a song both gay and melancholic rings out full of fervor from the groves and the meadows. The woodlands (horn solo) and the joyful, fertile lowlands of the Elbe and many, many other parts – everything is remembered in a hymn of praise. Each person may imagine whatever he chooses when hearing this work – the poet has the field open to him; all he has to do is follow the composition in detail.”

## TÁBOR

Tábor, seat of the Hussites (followers of the religious reformer Jan Hus in fourteenth-century Bohemia), is an ancient fortress town about fifty miles southeast of Prague. Smetana based his composition *Tábor* entirely on the majestic chorale “Ye Who Are God's Warriors,” which had the status of a patriotic hymn among the town's inhabitants. As the composer explained, “the piece depicts the Taborites' strong will, the victorious battles, the constancy and endurance, the stubborn refusal to yield ... it embraces the glory and renown of the Hussite struggle and the indestructible character of the Hussite warriors.” The town of Tábor hence became a symbol of freedom, religious devotion and Czech patriotism.

## BLANÍK

*Blaník* takes up where *Tábor* left off – with further development of the chorale hymn “Ye Who Are God's Warriors.” Blaník is a mountain in which the defeated Hussite warriors took refuge. There, wrote Smetana, “in deep slumber they await a time when they will be called once more to defend their homeland. ... As a brief intermezzo, we hear a short idyll describing

10  
Mar11  
Mar13  
Mar

the Blaník region, in which a young shepherd boy plays a pipe and the echo of his playing floats gently back to him. Finally, with the victorious hymn in the form of a march, the composition ends.”

**BEDŘICH SMETANA:** Born in Litomyšl, Bohemia, March 2, 1824; died in Prague, May 12, 1884

*Vyšehrad*

Work composed: 1874 World premiere: 14th, Mar. 1875, in Prague

Instrumentation: piccolo, 2 flutes, 2 oboes, 2 clarinets, 2 bassoons, 4 horns, 2 trumpets, 3 trombones, tuba, timpani, percussion (triangle, cymbals), 2 harps, strings

*Vltava (The Moldau)*

Work composed: 1874 World premiere: 4th, Apr. 1875, in Prague

Instrumentation: piccolo, 2 flutes, 2 oboes, 2 clarinets, 2 bassoons, 4 horns, 2 trumpets, 3 trombones, tuba, timpani, percussion (bass drum, triangle, cymbals), harp, strings

*Šárka*

Work composed: 1875 World premiere: 17th, Mar. 1877, in Prague

Instrumentation: piccolo, 2 flutes, 2 oboes, 2 clarinets, 2 bassoons, 4 horns, 2 trumpets, 3 trombones, tuba, timpani, percussion (triangle, cymbals), strings

*Z českých luhů a hájů (From Bohemia's Meadows and Forests)*

Work composed: 1875 World premiere: 10th, Dec. 1876 (1875?), in Prague

Instrumentation: piccolo, 2 flutes, 2 oboes, 2 clarinets, 2 bassoons, 4 horns, 2 trumpets, 3 trombones, tuba, timpani, percussion (triangle, cymbals), strings

*Tábor*

Work composed: 1878 World premiere: 4th, Jan. 1880, in Prague

Instrumentation: piccolo, 2 flutes, 2 oboes, 2 clarinets, 2 bassoons, 4 horns, 2 trumpets, 3 trombones, tuba, timpani, percussion (cymbals), strings

*Blaník*

Work composed: 1879 World premiere: 4th, Jan. 1880, in Prague

Instrumentation: piccolo, 2 flutes, 2 oboes, 2 clarinets, 2 bassoons, 4 horns, 2 trumpets, 3 trombones, tuba, timpani, percussion (triangle, cymbals), strings

Formerly a horn player in the Montreal Symphony, **Robert Markow** now writes program notes for orchestras as well as for numerous other musical organizations in North America and Asia. He taught at Montreal's McGill University for many years, has led music tours to several countries, and writes for numerous leading classical music journals.

## 2022 Season Subscription Concerts Lineup

In 2022, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 111th anniversary of Japan's first symphony orchestra. Join us for the ultimate concert experience! Single tickets for concerts in May are now available.

### Release dates for single tickets of concerts from June to October

Top priority [Patron, Subscription members] Sat. 9 April from 10:00 \*only by phone  
 Priority [Tokyo Phil Friends] & WEB Priority Sat. 16 April from 10:00  
 General public Tue. 26 April from 10:00

### Price list

Seat Type	SS	S	A	B	C
Single tickets	¥15,000	¥10,000	¥8,500	¥7,000	¥5,500
"TPO Friends(10% discount)"	-	¥9,000	¥7,650	¥6,300	¥4,950

## May

Wed. May 18, 19:00  
at Suntory Hall

Fri. May 20, 19:00  
at Tokyo Opera City Concert Hall

Sun. May 22, 15:00  
at Bunkamura Orchard Hall

**conductor: Myung-Whun Chung,**  
Honorary Music Director

Fauré:  
Suite from "Pelléas and Mélisande"  
 Ravel: Daphnis et Chloé Suite No. 2,  
 "Fragments symphoniques"  
 Debussy: La Mer,  
 trois esquisses symphoniques pour orchestre  
 Ravel: La Valse,  
 Poème choréographique pour orchestre

Single tickets available

## June

Wed. June 8, 19:00  
at Suntory Hall

Thu. June 9, 19:00  
at Tokyo Opera City Concert Hall

Sun. June 12, 15:00  
at Bunkamura Orchard Hall

**conductor: Mikhail Pletnev,**  
Special Guest Conductor

Shchedrin: "Carmen" Suite  
 (Shchedrin's 90th anniversary)  
 Tchaikovsky: Experts from the ballet  
 "Swan Lake"(Pletnev special edition)

Single tickets will be available from April on

## July

Thu. July 7, 19:00  
at Tokyo Opera City Concert Hall

Sun. July 10, 15:00  
at Bunkamura Orchard Hall

Tue. July 12, 19:00  
at Suntory Hall

**conductor: Daichi Deguchi**

violin: Mayu Kishima

Khachaturian:  
Experts from the ballet "Gayane"  
Khachaturian: Violin Concerto  
Khachaturian:  
Symphony No. 2 "The Bell"

Single tickets will be available from April on

## September

Thu. Sep 15, 19:00  
at Tokyo Opera City Concert Hall

Fri. Sep 16, 19:00  
at Suntory Hall

Mon./Holiday Sep 19, 15:00  
at Bunkamura Orchard Hall

**conductor: Andrea Battistoni,**  
Chief Conductor

Liszt/Battistoni: *Années de pèlerinage,*  
*Deuxième année - Italie, S. 161: No. 7,*  
*Après une lecture du Dante*  
(After a Reading of Dante from Years of  
Pilgrimage "Second Year: Italy" S. 161 No. 7)  
Mahler: *Symphony No. 5*

Single tickets will be available from April on

## October

Thu. Oct 20, 19:00  
at Suntory Hall

Fri. Oct 21, 19:00  
at Tokyo Opera City Concert Hall

Sun. Oct 23, 15:00  
at Bunkamura Orchard Hall

**conductor: Myung-Whun Chung,**  
Honorary Music Director

Verdi: Opera "Falstaff" in concert style

Single tickets will be available from April on

### Inquiries about tickets.

Tokyo Phil Ticket Service tel: **03-5353-9522**  
(weekdays 10:00 - 18:00, closed on weekends and holidays)



## Infection Control at Tokyo Phil

In our concerts, we assign top priority to the safety and health of all those involved, including the audience, the performers, and the staff members. From rehearsal to performance, we have been taking measures on stage, backstage, in dressing rooms, and in audience lobbies in accordance with the guidelines for the prevention of the spread of new coronaviruses published by the government of Japan, the Tokyo Metropolitan Government, and other related organizations.



We request that our audience disinfect their hands before entering the venue and maintain social distance with each other in lining up.



The audience's temperature is checked with a thermography camera and so on.



In order to avoid crowding when entering and exiting the hall, we ask that you enter and exit the hall by staggered times. Thank you for your cooperation.

If the attendee who comes to the venue is different from the purchaser of the ticket, we request to fill out the attendee's contact information in the ticket stub. The contact information will be kept under lock and incinerated one month after the performance.

Photo by K. Miura / Takafumi Ueno



Face Masks  
Required



Physical  
Distancing



Sanitizing  
Stations



Frequent Cleaning  
and Disinfecting



Improved Indoor  
Ventilation

Please wear a mask at all times in the hall.

Please refrain from talking in the lobby or in the auditorium.

Please keep ample distance between audience members in the lobby.

Please disinfect your hands frequently.

Our staff will disinfect and wipe down the venue.

Adequate ventilation is provided in the auditorium.

Please cooperate with staggered entry and exit.

## 東京フィルだより — 2022年シーズン今後の定期演奏会

### 5月の定期演奏会

第968回サントリー定期シリーズ

5月18日(水) 19:00 サントリーホール

第146回東京オペラシティ定期シリーズ

5月20日(金) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール

第969回オーチャード定期演奏会

5月22日(日) 15:00 Bunkamura オーチャードホール

指揮：チョン・ミョンファン(東京フィル名誉音楽監督)

フォーレ／組曲『ペレアスとメリザンド』

ラヴェル／『ダフニスとクロエ』第2組曲

ドビュッシー／交響詩『海』(管弦楽のための3つの交響的素描)

ラヴェル／管弦楽のための舞踏詩『ラ・ヴァルス』



### 6月の定期演奏会

第970回サントリー定期シリーズ

6月8日(水) 19:00 サントリーホール

第147回東京オペラシティ定期シリーズ

6月9日(木) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール

第971回オーチャード定期演奏会

6月12日(日) 15:00 Bunkamura オーチャードホール

指揮：ミハイル・プレトニョフ(東京フィル特別客演指揮者)

シCHEDリン／

カルメン組曲〈シCHEDリン生誕90年〉

チャイコフスキー／

バレエ音楽『白鳥の湖』より(プレトニョフによる特別編集)



【料金】1回券 SS¥15,000 S¥10,000 A¥8,500 B¥7,000 C¥5,500

※東京フィルフレンズ(年会費無料・随時入会受付中)入会で、定価の10%割引で購入いただけます(SS席を除く)。

お申込み・お問合せは  
東京フィルチケット  
サービスまで

03-5353-9522(平日10時～18時/土日祝休)

<https://www.tpo.or.jp/>(24時間受付・座席選択可)

## マエストロ チョン・ミョンファン&東京フィルの “スペシャル”なオール・フレンチ・プログラム



2021年9月定期演奏会〈ブラームス 交響曲の全て〉より ©上野隆文

名誉音楽監督チョン・ミョンファンと東京フィルのコンビが“スペシャル”であるの言うまでもない。2001年の邂逅以来常にそうだが、近年は特にその度合いが増している。それを見事に証明したのが、昨年7月&9月のブラームス交響曲全曲演奏だ。1年4ヶ月ぶりの再会となった当コンビは、彫りが深くしてエネルギーに充ち溢れた熱演を展開。さらには各曲の特性を細やかに描き分け、マエストロチョン自身の深化と、マエストロとの再会の喜び漲る東京フィルの阿吽の呼応を印象付けた。

よって今年1月のマーラーの交響曲第3番が幻に終わったのは痛恨の極み。だがそれだけに、5月のフランス・プロへの注目度はより高まる。むしろ再びの別離からの逢瀬が後押しした渾身のパフォーマンスへの期待は大。それに何よりチョン・ミョンファンのフランス物がまた“スペシャル”だ。



マエストロがオーケストラに見せる極上の笑顔 ©上野隆文

彼が世に名を成したのは、1989～94年のパリ・オペラ座バステューの音楽監督時代だった。現地でのオペラもさることながら、日本レコード・アカデミー賞大賞を受賞したベルリオーズ『幻想交響曲』をはじめとするバステュー管とのフランス作品の録音は、どれも高い評価を獲得した。次いで2000～15年にはフランス国立放送フィルの音楽監督（現在は名誉音楽監督）を務め、ここでもラヴェ

ル『ダフニスとクロエ』等の録音や日本公演で、再三フランス物の好演を聴かせた。またメシアンと交流を持ち、この大作曲家から厚い信頼を得ている。東京フィルでも然り。2020年のビゼー『カルメン』の終始光彩を放つ圧倒的凄演、2018年の『幻想交響曲』やサン＝サーンス『オルガン付き』の緻密かつダイナミックな快演は、まだ記憶に新しい。これらは全て、チョン・ミョンフンのフランス音楽に対する造詣の深さ、ひいては“スペシャルな相性”を物語っている。

チョン・ミョンフンが振るフランス物は、ダイナミズムと洗練、華麗な彩りと緻密さを併せ持っている。さらに唯一無二の特長がラテン的なエネルギーだ。それゆえどの曲にも生気が宿り、楽曲の綾が浮き彫りにされると同時に、無類の陶醉感や高揚感がもたらされる。

5月の演目は極上の名曲揃い。しかもチョン・ミョンフンが過去に名演や名録音を残している作品ばかりだ。フォーレ『ペレアスとメリザンド』では精妙な肌合い、『ダフニスとクロエ』第2組曲では精緻な解析とバレエ音楽ならではの躍動感、ドビュッシー『海』では精彩に富んだ描写と交響曲の如き構築性、ラヴェル『ラ・ヴァルス』では目くるめく展開と凄絶な響きを聴くことができるだろう。加えて、フランスの管弦楽曲の中でもドラマ性や高潮度が高い作品が並んでいる点も、オペラを得意とする当コンビに相応しい。

そしていっそう胸を躍らせてくれるのが、チョン・ミョンフンの顕著な円熟と、一



1年半ぶりの再会となった2021年7月定期のカーテンコールにて  
©K.Miura

期一会的な共演に燃える東京フィルの熱量の高さだ。それらも相まった今回は、これまで以上に“スペシャル”なフランス音楽を体験できるに違いない。

公演情報など詳細は18ページを参照ください。

しばた・かつひこ（音楽ライター）／音楽マネジメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、Web、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」（朝日新書）、「吹奏楽編曲されているクラシック名曲集」（音楽之友社）。

## News &amp; Information

**10月定期演奏会『ファルスタッフ』(オペラ演奏会形式)  
キャスト決定!**

名誉音楽監督チョン・ミョンフン指揮、ヴェルディ最後のオペラ『ファルスタッフ』(オペラ演奏会形式)のキャストが決定いたしました。ファルスタッフ役にはバリトン、セバスティアン・カターナが出演。マエストロ チョン・ミョンフンのタクトのもと、日本トップクラスの歌手たちが脇を固めます。どうぞご期待ください。

**指揮:** チョン・ミョンフン(東京フィル名誉音楽監督)

**ファルスタッフ:** セバスティアン・カターナ

フォード: 須藤慎吾      バルドルフォ: 大槻孝志      クイックリー: 中島郁子  
フェントン: 小堀勇介      ピストーラ: 加藤宏隆      ナンネッタ: 三宅理恵  
カイウス: 清水徹太郎      アリーチェ: 砂川涼子      メグ: 向野由美子



**合唱:**  
新国立劇場合唱団

**ヴェルディ／歌劇『ファルスタッフ』(オペラ演奏会形式)**

(台本/アッリーゴ・ボーイト、原作/シェイクスピア「ウインザーの陽気な女房たち」)

日程・発売日など詳細は23ページをご覧ください。

**【楽員出演情報】****アンサンブルパストラーレ 第2回演奏会「花ひらくシューベルト」**

昨年の12月にデビュー公演をしたばかりのアンサンブルグループです。交響曲を少人数で室内楽のように演奏するプロジェクトに挑戦する目的で立ち上げました。音楽を創るうえで全員参加のディスカッションを心がけてリハーサルと行っていますが、特に今回は偉大な先輩にもご参加頂く事で、若手奏者とのようなケミストリーとなるのかとても楽しみです。(廣幡敦子)

**日時** 4月16日(土) 19時開演 **会場** ルーテル市ヶ谷ホール (東京都新宿区市谷砂土原町1-1)

**曲目** シューベルト/ピアノ5重奏『鱒』第4楽章(十重奏版)、交響曲第7番ロ短調D.759『未完成』、交響曲第5番変ロ長調D.485

**出演** 三浦章宏、奥野玄宜(ヴァイオリン)、山本琢也(ヴァイオリン)、小島幸法(チェロ)、岡本潤(コントラバス)、下弘桐子(フルート)、荒川文吉(オーボエ)、アレクサンドロ・ベヴェラリ(クラリネット)、廣幡敦子(ファゴット)、加藤智浩(ホルン)

**お申込・お問合せ** アンサンブルパストラーレ [pastorale.ensemble@gmail.com](mailto:pastorale.ensemble@gmail.com)

**【訃報】大町陽一郎氏(東京フィル名誉指揮者)逝去**

指揮者の大町陽一郎氏が、2022年2月18日、老衰のため逝去されました。享年90歳。東京フィル第5代常任指揮者(1961-64/1967-74)、専属指揮者(1964-67)、音楽顧問(1974-99)、専任指揮者(1999-)、名誉指揮者(2015-)を歴任されました。長年にわたるご貢献に心より御礼を申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## 2022シーズン 今後の定期演奏会

2022年、創立111周年を迎える東京フィルの新シーズンが開幕しました。1年間、皆様にかけてえのないひと時をお届けいたします。5月の定期演奏会は1回券発売中。6月～10月の定期演奏会の発売日は4月を予定しております(残席状況はお問合せください)。皆様のご来場をお待ちしております。

### 6～10月定期演奏会 1回券発売日

最優先(賛助会員・定期会員) 4月9日(土) 10時～ ※お電話のみ  
 優先(東京フィルフレンズ会員)・WEB優先 4月16日(土) 10時～  
 一般 4月26日(火) 10時～

#### 5月 指揮：チョン・ミョンフン (東京フィル名誉音楽監督)

第968回 5月18日(水) 19:00  
 サントリーホール  
 第146回 5月20日(金) 19:00  
 東京オペラシティ コンサートホール  
 第969回 5月22日(日) 15:00  
 Bunkamuraオーチャードホール

フォーレ／組曲『ペレアスとメリザンド』  
 ラヴェル／『ダフニスとクロエ』第2組曲  
 ドビュッシー／交響詩『海』  
 (管弦楽のための3つの交響的素描)  
 ラヴェル／  
 管弦楽のための舞踏詩『ラ・ヴァルス』

1回券発売中

#### 6月 指揮：ミハイル・プレトニョフ (東京フィル特別客演指揮者)

第970回 6月8日(水) 19:00  
 サントリーホール  
 第147回 6月9日(木) 19:00  
 東京オペラシティ コンサートホール  
 第971回 6月12日(日) 15:00  
 Bunkamuraオーチャードホール

シCHEDリン／カルメン組曲  
 〈シCHEDリン生誕90年〉  
 チャイコフスキー／『白鳥の湖』より  
 (プレトニョフによる特別編集)

1回券4月発売

### チケット料金(税込)

1回券	SS席	S席	A席	B席	C席
定価	¥15,000	¥10,000	¥8,500	¥7,000	¥5,500
東京フィルフレンズ (※定価の10%OFF)	-	¥9,000	¥7,650	¥6,300	¥4,950

7  
月

指揮：出口大地

(2021年ハチャトゥリアン国際コンクール第1位、  
ケーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位入賞)  
ヴァイオリン：木嶋真優\*第148回 7月7日(木)19:00  
東京オペラシティ コンサートホール  
第972回 7月10日(日)15:00  
Bunkamuraオーチャードホール  
第973回 7月12日(火)19:00  
サントリーホールハチャトゥリアン／  
バレエ音楽『ガイヌ』より  
ハチャトゥリアン／ヴァイオリン協奏曲\*  
ハチャトゥリアン／交響曲第2番『鐘』

1回券 4月発売

9  
月指揮：アンドレア・バッティストーニ  
(東京フィル首席指揮者)第149回 9月15日(木)19:00  
東京オペラシティ コンサートホール  
第974回 9月16日(金)19:00  
サントリーホール  
第975回 9月19日(月・祝)15:00  
Bunkamuraオーチャードホールリスト(バッティストーニ編)／  
『巡礼の年』第2年「イタリア」より第7曲  
ダンテを読んで—ソナタ風幻想曲  
マーラー／交響曲第5番

1回券 4月発売

10  
月指揮：チョン・ミョンフン  
(東京フィル名誉音楽監督) 他第976回 10月20日(木)19:00  
サントリーホール  
第150回 10月21日(金)19:00  
東京オペラシティ コンサートホール  
第977回 10月23日(日)15:00  
Bunkamuraオーチャードホール

ヴェルディ／歌劇『ファルスタッフ』

◆ オペラ演奏会形式 ◆

1回券 4月発売

| 問合せ 東京フィルチケットサービス

発売日などの詳細は

Tel 03-5353-9522 (平日10時～18時・土日祝日休/  
発売日の土曜日は10時～16時)

URL www.tpo.or.jp/(24時間受付・座席選択可)



## 2022シーズン 午後のコンサート 4回セット券発売中!

2021シーズンもたくさんの皆様に「午後のコンサート」をお楽しみいただき、ありがとうございました。2022シーズンは今年4～5月に開幕します。ゆったりとした午後のひとときを、オーケストラの名曲と幅広い世代の音楽家のお話で愉しむ「午後のコンサート」。2022シーズンもぜひお楽しみください。



写真=上野隆文

料金表	S席	A席	B席	C席
4回セット券(定価)	¥20,520	¥16,560	¥11,160	¥8,400
(東京フィルフレンズ)	¥18,468	¥14,904	¥10,044	¥7,560
1回券(定価)	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
(東京フィルフレンズ)	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※1回券は4回セット券の販売終了後、残席がある場合にのみ販売いたします。

※東京フィルフレンズ(年会費無料・随時入会受付中)入会で、定価の10%割引で購入いただけます。

お申込み・お問合せは  
東京フィルチケット  
サービスまで

03-5353-9522

(平日10時～18時/土日祝休・チケット発売日の土曜日は10時～16時の営業)

<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

“大人の渋谷”、Bunkamuraで楽しむ  
**渋谷の午後のコンサート**

Bunkamura オーチャードホール  
開演 14:00 (開場 13:15)

5月16日(月)

第13回  
指揮とお話：  
**栗田博文**  
北歐より



©山本倫子

7月27日(水)

第14回  
指揮とお話：  
**三ツ橋敬子**  
バンドネオン：小松亮太  
夏を踊る



©Earl Ross

9月2日(金)

第15回  
指揮とお話：  
**小林研一郎**  
ヴァイオリン：荒井里桜  
コパケンの名曲アラカルト



©山本倫子

11月24日(木)

第16回  
指揮とお話：  
**大井剛史**  
ソプラノ：森麻季  
クリスタル・クラシック



©K. Miura

ゆったりと、平日午後に“音楽のご褒美”  
**平日の午後のコンサート**

東京オペラシティ コンサートホール  
開演 14:00 (開場 13:15)

4月28日(木)

第25回  
指揮とお話：  
**尾高忠明**  
ウィーンの思い出



©Takafumi Ueno

6月23日(木)

第26回  
指揮とお話：  
**チョン・ミン**  
マエストロの旅



©Silvia Lelli

8月5日(金)

第27回  
指揮とお話：  
**ダン・エッティンガー**  
ヴァイオリン：服部百音  
千夜一夜物語



©Froehlingsdorf

10月31日(月)

第28回  
指揮とお話：  
**円光寺雅彦**  
ピアノ：清塚信也  
オーケストラ・ライマックス  
～ピアノ協奏曲編～



©K. Miura

愛され続けて23年目。午後コンの“元祖”  
**休日の午後のコンサート**

東京オペラシティ コンサートホール  
開演 14:00 (開場 13:15)

5月15日(日)

第92回  
指揮とお話：  
**栗田博文**  
北歐より



©友澤綾乃

7月24日(日)

第93回  
指揮とお話：  
**三ツ橋敬子**  
バンドネオン：小松亮太  
夏を踊る



©Earl Ross

9月4日(日)

第94回  
指揮とお話：  
**小林研一郎**  
ヴァイオリン：荒井里桜  
コパケンの名曲アラカルト



©Takafumi Ueno

11月27日(日)

第95回  
指揮とお話：  
**大井剛史**  
ソプラノ：森麻季  
クリスタル・クラシック



©K. Miura

※曲目など詳細はウェブサイトまたは会場で配布しているリーフレットをご参照ください。

## Photo Reports 2022年2月の演奏会より

2月の演奏会は、大人気シリーズ「午後のコンサート」2公演と、事業提携を結ぶ千葉県千葉市での定期演奏会、そして、2024年いっぱいでの引退を宣言したマエストロ、井上道義との定期演奏会。生誕100年を迎えるギリシャの前衛作曲家イアニス・クセナキスのピアノ協奏曲第3番『ケクロプス』日本初演を含む密度の濃いプログラムをお届けしました。

写真=寺司正彦(2月定期)

### 第24回 平日の午後のコンサート(2/3)〈夢を語りませんか〉 第91回 休日の午後のコンサート(2/6)〈テーマは愛〉

指揮とお話：三ツ橋敬子 ピアノ：仲道郁代\*  
コンサートマスター：依田真宣

リスト／ハンガリー狂詩曲第2番  
ショパン／  
アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ\*  
【ソリスト・アンコール】  
リスト／愛の夢 第3番  
ハチャトゥリアン／劇音楽『仮面舞踏会』よりワルツ  
チャイコフスキー／  
幻想序曲『ロメオとジュリエット』(2/3公演)  
チャイコフスキー／  
バレエ組曲『白鳥の湖』より(2/6公演)  
【オーケストラ・アンコール】  
モリコーネ／『ニュー・シネマ・パラダイス』より  
“愛のテーマ”



指揮にお話に好評を博すマエストロ三ツ橋敬子



マエストロと仲道郁代さんのお話コーナーでは共通の趣味である船舶の話も!

### 第54回千葉市定期演奏会

指揮：角田鋼亮  
ヴァイオリン：服部百音\*  
コンサートマスター：三浦章宏

チャイコフスキー／ヴァイオリン協奏曲\*  
【ソリスト・アンコール】  
クライスラー／  
レチタティーヴォとスケルツォよりスケルツォ  
リムスキー=コルサコフ／  
交響組曲『シェエラザード』  
【オーケストラ・アンコール】  
ハチャトゥリアン／  
バレエ音楽『ガイヌ』よりレズギンカ



マエストロ角田鋼亮は年末の「第九」、ニューイヤーコンサートから立て続ける共演。ロシアの名曲で千葉のお客様を沸かせました



服部百音さんとのリハースルより



若き音楽家たちの熱い共演をお楽しみいただきました

## 2月定期演奏会(2/24、25、27)

指揮：井上道義

ピアノ：大井浩明\*

コンサートマスター：依田真宣

エルガー／序曲『南国にて』(アラッシオ)

クセナキス／ピアノ協奏曲第3番

『ケクロプス』\* (1986)

〈クセナキス生誕100年〉日本初演

ショスタコーヴィチ／交響曲第1番

【オーケストラ・アンコール】

J.シュトラウスII世／ワルツ『南国のぼら』より



コンサートはマエストロ井上が「振りたくて仕方なかった」と語るエルガー『南国にて』で開幕



生誕100年を迎えた作曲家クセナキスの『ケクロプス』日本初演は、ピアニスト大井浩明氏の独奏で



メインはマエストロのライフワーク・ショスタコーヴィチの「第1番」。拍手に応え作曲時19歳だった作曲家の写真を掲げるマエストロ



アンコールはワルツ『南国のぼら』より。壮絶なプログラムのエンドロールのような、心あたたまる幕引きとなりました

## クラシック音楽で東京の学校へ

大塚化学 特別相談役／大塚国際美術館 理事  
大塚雄二郎



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について語っていただく本連載。第9回は、10年にわたり東京フィルの理事をつとめられ、様々な角度から東京フィルをご支援くださっている大塚化学株式会社 特別相談役の大塚雄二郎様に、音楽と出会った故郷“鳴門”でのエピソードを綴っていただきました。

私は高校まで徳島の鳴門で育ちました。鳴門は瀬戸内海と太平洋の境目にあり、渦潮で有名です。橋からも船からも、渦の時間に合わせれば素晴らしい自然が楽しめ、世界で一番の景観です。その風景が見える場所に私が理事をつとめる大塚国際美術館があります。世界でただ一つの陶板美術館で、見応えがあります。

もう一つ鳴門で忘れてならないのはベートーヴェン『第九』の故郷ということです。大正時代のはじめ、中国は青島で俘虜となったドイツ兵のうち約1,000名が鳴門市の板東俘虜収容所に収容されました。収容所の松江所長はドイツ兵たちと当時では考えられなかったほど優しく接し、自主性を尊重し兵たちの中にいた音楽隊や演劇・スポーツなども自主的にやらせ応援しました。町民たちも松江所長と共にドイツ兵たちと接し文化を吸収して馴染んでいきました。ドイツ兵たちは楽器も手造りし、町民たちも手伝って協力しました。音楽もたくさん曲目はあったのですが『第九』が一番得意だったようです。合唱は女性がいなかったため最初の頃は男性だけが歌っていたようです。私の2歳下だった鳴門の市長さんは、広報のために札幌やらほうぼう

アジアで初めてベートーヴェン『第九』が演奏された鳴門での一枚



へ第九を歌いに行っていました。

私は中学生の頃から東京の大学をめざして勉強をしておりました。音楽を聴きながら。SP、EP、LPレコードの時代です。勉強の友はやはりクラシック音楽がいいですね。気が散らないです。『ピーターと狼』やベートーヴェンの「ロマンス」2曲が好きで、四国放送のラジオのクラシック番組にリクエストして勉強しながらよく聴いておりました。今でも大好きです。不思議なもので、音楽というのは聴けば聴くほど、馴染めば馴染むほどもっと聴きたくなる。私の親父がいつも言っていました。世の中は“もうーぺん”が一番大事だ、と。「もうーぺん会いたい」「もうーぺん食べたい」「もうーぺん行ってみたい」「もうーぺん聴いてみたい」本当ですよ。もうーぺん、を繰り返し、クラシック音楽を聴きながら憧れの東京の大学に来ることができました。

今から40年ほど前になりますが、大不況があり世の中が暗くなりました。その頃、私のところに学校の先輩で当時の東京フィルの事務局長さんがお見えになって、この不況でスポンサーは離れていくし、楽団員たちも困ると伺いました。

そんなことで、以来時々東京フィルのコンサートで文化を楽しませて頂いております。先日サントリーホールで服部百音さんのヴァイオリンを聴かせて頂いて感動し、こんな素敵な方の追っかけになれば楽しいだろうなど思いました。

大塚雄二郎(おおつか・ゆうじろう)

昭和39年慶應義塾大学卒。大塚化学株式会社 特別相談役。大塚国際美術館 理事。  
2011(平成23)年より公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 理事。

大塚化学株式会社様は、素材を核とし、常に技術革新し豊かな暮らしを社会にもたらす製品づくりを目指しています。ヒドラジン事業、無機素材・複合材事業、医薬品原薬・中間体事業を中心とし「自動車」「電気・電子」「住宅」「医療」分野へグローバルに製品を提供しています。

桃の花が目には鮮やかな季節を迎えました。  
 皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。  
 今月は、2年の時を経てようやくお披露目が叶いました、  
 不滅の交響詩をご堪能ください。  
 引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

## 賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。  
 ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、  
 改めて御礼申し上げます。

### オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役 会長 兼 社長 CEO	吉田 憲一郎
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	牛腸 栄一
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	池田 憲人

### 法人会員

#### 賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IIIH 代表取締役社長 井手 博	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 片野坂 真哉	花王(株) 代表取締役 社長執行役員 長谷部 佳宏
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 松本 浩司	カシオ計算機(株) 代表取締役 社長 CEO 樫尾 和宏
アイ・システム(株) 代表取締役会長 兼 社長 松崎 務	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎	キャノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
(株)アシックス 代表取締役会長CEO 尾山 基	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄	(株)グリーンハウス 代表取締役社長 田沼 千秋

コスモエネルギーホールディングス(株)  
代表取締役社長 社長執行役員 桐山 浩

サントリーホールディングス(株)  
代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫  
理事長 柴田 弘之

新菱冷熱工業(株)  
代表取締役社長 加賀美 猛

(株)J.Y.PLANNING  
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶  
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー  
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)  
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)  
代表取締役会長 小澤 勉

ソニーグループ(株)  
代表執行役 会長兼社長 CEO 吉田 憲一郎

ソニー生命保険(株)  
代表取締役社長 萩本 友男

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント  
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店  
代表取締役社長 澤田 太郎

都築学園グループ  
総長 都築 仁子

東急(株)  
取締役社長 高橋 和夫

東京オペラシティビル(株)  
代表取締役社長 三和 千之

東レ(株)  
代表取締役社長 日覺 昭廣

トッパン・フォームズ(株)  
代表取締役社長 坂田 甲一

トヨタ自動車(株)  
代表取締役社長 豊田 章男

DOWAホールディングス(株)  
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス  
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ  
代表取締役社長 柴尾 雅春

日本ライフライン(株)  
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル  
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)  
代表取締役社長 北澤 通宏

(株)不二家  
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行  
頭取CEO 高島 誠

三菱商事(株)  
代表取締役社長 垣内 威彦

三菱倉庫(株)  
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行  
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)  
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治  
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)  
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)  
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器  
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)  
代表取締役会長 片山 貴雄

楽天グループ(株)  
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

(株)リソー教育  
取締役会長 若佐 実次

## 後援会員

(株)アグレックス  
代表取締役社長 畝森 達朗

(医)エレル たにぐちファミリークリニック  
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)  
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア  
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院  
理事長 加藤 徹

(医)だて内科クリニック  
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺  
代表役員 若林 隆壽

(一社)凸版印刷三幸会  
代表理事 金子 真吾

(株)トレミール  
代表取締役 茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス  
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

富士通(株)  
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)  
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱地所(株)  
執行役社長 吉田 淳一

三菱電機(株)  
執行役社長 漆間 啓

## ご支援の御礼とお願い

コロナ禍において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、チケット払戻しのご辞退やご寄附等、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は今も社会に大きな影響を及ぼしています。東京フィルもまた、深刻な打撃を受けています。2020年2月下旬から数か月にわたり、出演する演奏会のすべてが中止・延期となりました。現在も公演の中止や延期、チケットの販売停止が頻発しています。東京フィルの財源は演奏料収入がほとんどを占めるため、演奏会およびチケット収入の壊滅は団体存続の危機に直結いたします。指揮者と楽団員、スタッフはPCR検査や抗原検査を何度も受けて公演に臨んでおり、これらの検査に掛かる費用もまた楽団の財政を圧迫しています。

今後も、当団は、芸術がもたらす感動がどんな時代にも社会を豊かにするとの信念のもと、お客様ならびに関係者の安全と安心を最優先に、状況を注視しながら活動を続けてまいります。皆様のご寄附が大きな力となります。皆様におかれましては、改めて楽団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、いっそうのご支援・ご助力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただきましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会(37ページ)も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行(郵便振替)	00120-2-30370	公益財団法人
三井住友銀行・ 東京公務部(096)	普通預金 3003239	東京フィルハーモニー 交響楽団

- ※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。
- ※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。
- ※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。

[https://www.tpo.or.jp/support/img/support\\_TPO.pdf](https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf)



### 【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当  
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階  
Fax 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp  
Tel 03-5353-9521(土日祝日を除く10時~18時)

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

### フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

### 文化庁「文化芸術による子供育成総合事業 巡回公演事業」/ 「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」

文化庁が主催する本事業は、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。ワークショップ(少人数での事前指導)と、オーケストラによる本公演をお届けしています。国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本



小学校体育館でのオーケストラ本公演

大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行いました。2019年度からは、これまでの訪問地域に加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。

また、令和3年度に実施された文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得なかった文化芸術鑑賞・体験教室等について、子供たちが質の高い文化芸術に触れる機会を創出し、冷え込んだ文化芸術への関心を取り戻すことを目的として行われました。

### 留学生の演奏会ご招待… 留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは36ページをご参照ください。



定期演奏会に到場のJICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンファン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文

## ご来場いただけなくなった定期演奏会チケットのご寄附について

東京フィルでは、ご購入いただきながらご来場いただけなくなった定期演奏会のチケットをご寄附いただき「留学生招待シート」として活用させていただいてまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、運用を見合わせておりましたが、2021年1月定期よりご案内を再開いたしました。お手元にご来場いただけない公演チケットがございましたら、ぜひ東京フィルへご寄附ください。大切に使用させていただきます。

### 【お問合せ・お申込み】東京フィルチケットサービス

電話：03-5353-9522（10時～18時／土日祝休）

2月の演奏会のチケットのご寄附をいただきました。

心より御礼申し上げます。

（五十音順・敬称略）

飯田 道子、岡 利英、小林 晴子、佐々木 三春、田部井 幸雄（ほか、匿名希望13名）

## 特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンリーワンの特別企画を展開しております。

- 商品のプロモーションとして何か施策を考えたい
- 社内向けイベントで室内楽の演奏を企画したい
- 東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい
- 新製品、サンプルを会場で販売・配布したい

どうぞお気軽にご用命ください。



日中国交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて

【広告・協賛のお問合せ】東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部

電話：03-5353-9521（平日10時～18時） Eメール：partner@tpo.or.jp

## 東京フィル 賛助会 会員募集中

2022年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立111年を迎えます。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは一年の始まりである1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の新しい暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、東京フィルは社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を通じてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化するグローバル社会において心の豊かさを育み、文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

## 賛助会(法人／パートナー(個人))会員の種別

種別	年会費1口	
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。
法人会員	賛助会員	50万円
	後援会員	30万円
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円
	フィルハーモニー	50万円
	シンフォニー	30万円
	コンチェルト	10万円
	ラプソディ	5万円
	インテルメッツォ	3万円
	プレリユード	1万円

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。  
個人の場合は所得控除が税額控除をお選びいただけ、法人の場合は損金算入限度額が拡大されます。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「主催者カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。  
特典、お申込みや資料請求などにつきご案内いたします。  
ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

## 【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部(担当:星野<sup>かのま</sup>麗文)

電話: 03-5353-9521(平日10時~18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

# 東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

## 名誉音楽監督

Honorary Music Director

チョン・ミョンフン

Myung-Whun Chung

## 首席指揮者

Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ

Andrea Battistoni

## 桂冠指揮者

Conductor Laureate

尾高 忠明

Tadaaki Otake

大野 和士

Kazushi Ono

ダン・エッティンガー

Dan Ettinger

## 特別客演指揮者

Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ

Mikhail Pletnev

## アシエイト・コンダクター

Associate Conductor

チョン・ミン

Min Chung

## 永久名誉指揮者

Permanent Honorary Conductor

山田 一雄

Kazuo Yamada

## 永久楽友・名誉指揮者

Permanent Member and  
Honorary Conductor

大賀 典雄

Norio Ohga

## コンサートマスター

Concertmasters

近藤 薫

Kaoru Kondo

三浦 章宏

Akihiro Miura

依田 真宜

Masanobu Yoda

## 第1ヴァイオリン

First Violins

小池 彩織☆

Saori Koike

榊原 菜若☆

Namo Sakakibara

坪井 夏美☆

Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆

Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之

Yoshiyuki Asami

浦田 絵里

Eri Urata

景澤 恵子

Keiko Kagesawa

加藤 光

Hikaru Kato

巖築 朋美

Tomomi Ganchiku

坂口 正明

Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久

Saku Suzuki

高田 あきの

Akino Takada

田中 秀子

Hideko Tanaka

栃本 三津子

Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀

Miki Nakazawa

中丸 洋子

Hiroko Nakamaru

廣澤 育美

Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子

Satoko Hirota

藤瀬 実沙子

Misako Fujise

松田 朋子

Tomoko Matsuda

## 第2ヴァイオリン

Second Violins

戸上 真里◎

Mari Togami

藤村 政芳◎

Masayoshi Fujimura

水島 路◎

Michi Mizutori

宮川 正雪◎

Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆

Aiko Kojima

高瀬 真由子☆

Mayuko Takase

石原 千草

Chigusa Ishihara

出原 麻智子

Machiko Idehara

太田 慶

Kei Ota

葛西 理恵

Rie Kasai

佐藤 実江子

Mieko Sato

二宮 祐子

Yuko Ninomiya

本堂 祐香

Yuuka Hondo

山代 裕子

Yuko Yamashiro

吉田 智子

Tomoko Yoshida

吉永 安希子

Akiko Yoshinaga

若井 須和子

Suwako Wakai

渡邊 みな子

Minako Watanabe

## ヴァイオラ

Violas

須田 祥子◎

Sachiko Suda

須藤 三千代◎

Michiyo Suto

高平 純◎

Jun Takahira

加藤 大輔◎

Daisuke Kato

伊藤 千絵

Chie Ito

岡保 文子

Ayako Okayasu

曾和 万里子

Mariko Sowa

高橋 映子

Eiko Takahashi

手塚 貴子

Takako Tezuka

中嶋 圭輔

Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子

Tazuko Hirumi

古野 敦子

Atsuko Furuno

村上 直子

Naoko Murakami

森田 正治

Masaharu Morita

チェロ Cellos	コントラバス Contrabasses	オーボエ Oboes	ホルン Horns	トロンボーン Trombones	ハープ Harps
金木 博幸◎ Hiroyuki Kanaki	片岡 夢児◎ Yumeji Kataoka	荒川 文吉◎ Bunkichi Arakawa	齋藤 雄介◎ Yusuke Saito	五箇 正明◎ Masaaki Goka	梶 彩乃 Ayano Kaji
服部 誠◎ Makoto Hattori	黒木 岩寿◎ Iwahisa Kuroki	加瀬 孝宏◎ Takahiro Kase	高橋 臣宜◎ Takanori Takahashi	中西 和泉◎ Izumi Nakanishi	田島 緑 Midori Tajima
渡邊 辰紀◎ Tatsuki Watanabe	小笠原 茅乃◎ Kayano Ogasawara	佐竹 正史◎ Masashi Satake	磯部 保彦 Yasuhiko Isobe	辻 姫子◎ Himeko Tsuji	ライブラリアン Librarians
黒川 実咲☆ Misaki Kurokawa	遠藤 柁一郎 Shuichiro Endo	杉本 真木 Maki Sugimoto	大東 周 Shu Ohigashi	石川 浩 Hiroschi Ishikawa	武田 基樹 Motoki Takeda
高麗 正史☆ Masashi Korai	岡本 義輝 Yoshiteru Okamoto	若林 沙弥香 Sayaka Wakabayashi	木村 俊介 Shunsuke Kimura	岩倉 宗二郎 Sojiro Iwakura	ステージマネージャー Stage Managers
広田 勇樹☆ Yuki Hirota	小栗 亮太 Ryota Oguri	クラリネット Clarinets	田場 英子 Eiko Taba	小田 愛美 Manami Oda	稲岡 宏司 Hiroschi Inaoka
石川 剛 Go Ishikawa	熊谷 麻弥 Maya Kumagai	チヨ・スンホ◎ SungHo Cho	塚田 聡 Satoshi Tsukada	平田 慎 Shin Hirata	大田 淳志 Atsushi Ota
大内 麻央 Mao Ouchi	菅原 政彦 Masahiko Sugawara	アレッサンドロ・ ベヴェラリ◎ Alessandro Beverari	豊田 万紀 Maki Toyoda	山内 正博 Masahiro Yamauchi	古谷 寛 Hiroschi Furuya
太田 徹 Tetsu Ota	田邊 朋美 Tomomi Tanabe	万行 千秋◎ Chiaki Mangyo	山内 研自 Kenji Yamanouchi	チューバ Tubas	大塚 哲也 Tetsuya Otsuka
菊池 武英 Takehide Kikuchi	中村 元優 Motomasa Nakamura	黒尾 文恵 Fumie Kuroo	山本 友宏 Tomohiro Yamamoto	荻野 晋 Shin Ogino	
佐々木 良伸 Yoshinobu Sasaki	フルート Flutes	林 直樹 Naoki Hayashi	トランペット Trumpets		
長谷川 陽子 Yoko Hasegawa	神田 勇哉◎ Yuya Kanda	ファゴット Bassoons	川田 修一◎ Shuichi Kawata	ティンパニ& パーカッション Timpani & Percussion	
渡邊 文月 Fuzuki Watanabe	斉藤 和志◎ Kazushi Saito	チェ・ヨンジン◎ Young-Jin Choe	野田 亮◎ Ryo Noda	岡部 亮登◎ Ryoto Okabe	
	吉岡 アカリ◎ Akari Yoshioka	廣幡 敦子◎ Atsuko Hirohata	古田 俊博◎ Toshihiro Furuta	塩田 拓郎◎ Takuro Shiota	
	さかはし 矢波 Yanami Sakahashi	井村 裕美 Hiromi Imura	杉山 眞彦 Masahiko Sugiyama	木村 達志 Tatsushi Kimura	
	下払 桐子 Kiriko Shimobarai	桔川 由美 Yumi Kikkawa	前田 寛人 Hirohito Maeda	鷹羽 香緒里 Kaori Takaba	
		森 純一 Junichi Mori		縄田 喜久子 Kikuko Nawata	
				船迫 優子 Yuko Funasako	
				古谷 はるみ Harumi Furuya	

◎首席奏者  
Principal○副首席奏者  
Assistant Principal☆フオアシュピラー  
Vorspieler

## 東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

## Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2011, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrated its 100th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>   



©上野隆文

## 役員等・事務局・団友

## 役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	海老澤 敏
副理事長	大塚 雄二郎		佐治 信忠
黒柳 徹子	小山田 隆		鈴木 勲
専務理事	篠澤 恭助		鈴木 啓介
石丸 恭一	田沼 千秋		瀬谷 博道
	寺田 琢		日枝 久
常務理事	遠山 敦子		南 直哉
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

## 事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
				安田 ひとみ	

## 団友

安藤 栄作	大和田 皓	河野 啓子	清水 真佑子	長池 陽次郎	古野 淳
池田 敏美	岡部 純	近藤 勉	瀬尾 勝保	長岡 慎	細川 克己
糸井 正博	小樽 敦子	今野 芳雄	高岩 紀子	長倉 穰司	細洞 寛
今井 彰	小山 智子	齊藤 匠	高野 和彦	新田 清枝	本田 詩子
井料 和彦	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	高村 千代子	新田 伸雄	松澤 久美子
岩崎 龍彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 良	二宮 純	湊 貞男
植木 佳奈	加藤 博文	嵯峨 美穂子	竹林 陽子	野仲 啓之助	宮原 真弓
上野 眞行	金崎 真由美	桜木 弘子	田中 千枝	畑中 和子	山屋 房子
生方 正好	川人 洋二	笹 翠	田村 武雄	玻名城 昌子	吉田 啓義
大兼久 輝宴	木村 友博	佐々木 等	津田 好美	福村 忠雄	米倉 浩喜
大澤 昌生	黒川 正三	佐野 恭一	戸坂 恭毅	藤原 勲	脇屋 俊介

〈発行日〉 2022(令和4)年3月10日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉 東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel. 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉 米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉 歌文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra \*無断転載を禁ず(非売品)

## 演奏会場の感染対策について

演奏会の開催にあたり、リハーサルから本番に至るまで、お客様、出演者、スタッフ等、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに従い、舞台上・舞台裏・楽屋・客席ロビーなどにおける対策を講じております。引き続きの感染症予防のご協力をお願い申し上げます。

写真=三浦興一／上野隆文

### 客席・ロビーの対策について



入場前の手指消毒、常時マスク着用、間をあけて整列をお願いいたします



入場の際に、サーモグラフィカメラ等での検温を行っています



ホール入退場時の密集を避けるため、時間差による入退場のご協力をお願いいたします

ご来場者様の中から感染者が発生した場合には、保健所等の公的機関と連携の上、ご購入の際に取得した購入者情報を緊急連絡先として使用させていただく場合がございます。チケットご購入者をご来場者が異なり、購入者情報を緊急連絡先として望まない場合は、必ずチケット半券裏面の余白にご来場者様のお名前と緊急連絡先(電話番号など)のご記入をお願いいたします。



Face Masks  
Required



Physical  
Distancing



Sanitizing  
Stations



Frequent Cleaning  
and Disinfecting



Improved Indoor  
Ventilation

会場では常時マスクの着用をお願いいたします。

ロビーや客席内での会話はお控えください。

ロビー等ではお客様同士の間隔を十分におとりください。

頻回の手指消毒をお願いいたします。

場内はスタッフが消毒・清拭を行っております。

客席内は十分な換気を行っております。

時差入退場にご協力ください。



TOKYO PHILHARMONIC ORCHESTRA

---

SEASON 2022